

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 女性看護学分野科
目コード:260003

女性看護学特論Ⅲ Women's Health Nursing Ⅲ

担当教員	米田 昌代、桶作 梢、原真佑子				
実務経験					
開講年次	1年次前期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	30		
該当ディプロマポリシー	(1)	○	(2)	◎	(3)
Keywords	研究疑問、研究デザイン、因子探索研究、関係探索研究、関連検証研究、因果仮説検証研究、データ収集、測定用具の信頼性と妥当性、研究課題、解釈、研究の限界・今後の課題				
学習目的・目標	女性看護学分野の研究論文や実践報告の精読や討論を行うことにより、女性や家族に関する健康課題や看護実践への示唆を見出すためのプロセスについて学ぶ。各研究課題の意義、適切な研究デザインの選択、データ収集方法ならびにその信頼性と妥当性について理解する。次年度の特別研究と有機的に連動させる。				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1	オリエンテーション 研究デザインの確認 研究倫理「APRIN eラーニングプログラム(eAPRIN)」について			講義・討議	米田
2～5	因子探索研究(質的研究)の論文抄読・プレゼンテーション			プレゼンテーション・ 討議	米田・桶作・原
6～8	関係探索研究(実態調査研究、疫学的研究)の論文抄読・プレゼンテーション			プレゼンテーション・ 討議	米田・桶作・原
9～11	関連検証(仮説検証)研究の論文抄読・プレゼンテーション			プレゼンテーション・ 討議	米田・桶作・原
12～15	因果関係検証(因果仮説検証)研究(実験研究、準実験研究)の論文抄読・プレゼンテーション			プレゼンテーション・ 討議	米田・桶作・原
教科書	随時紹介する				
参考図書等	随時紹介する				
評価方法・基準	プレゼンテーション(資料含)(70%)・討議(30%)				
関連科目	看護研究、データ分析方法論、女性看護学特論Ⅰ、女性看護学特論Ⅱ、女性看護学演習Ⅰ、女性看護学演習Ⅱ、特別研究(女性看護学分野)、特別研究(助産看護学分野)				
教員から学生へのメッセージ	新たな看護援助のあり方を考察するための研究プロセス・研究デザインを学び、女性看護学における自己の研究課題の探索にも活かしていきましょう。				